

令和8年度 第3回掛川市立三笠幼稚園のあり方検討委員会

次第

日時：令和8年6月30日(火)19時～21時

場所：掛川市立三笠幼稚園1階遊戯室

1 開 会

2 あいさつ

3 報告事項

(1) 第2回検討委員会での質疑や意見に対する回答

・周辺自治体における公立園の状況

(2) 三笠幼稚園保護者総会 検討状況報告の結果について

4 協議事項

(1) これまでの振り返り

(2) 検討委員会の方向性の確認

(3) 利活用に向けて

・報告書のイメージ

5 そ の 他

6 閉 会



第3回三笠幼稚園のあり方検討委員会

令和8年6月30日

こども希望部 こども政策課



第3回三笠幼稚園のあり方検討委員会



1. これまでの振り返り
2. 検討委員会の方向性の確認
3. 利活用に向けて（今日はここを議論します）

1. これまでの振り返り



第1回検討委員会(令和7年12月17日)

(1)三笠幼稚園のあり方検討について

- ・園の存続、地域活性化への期待(残したい・利活用)
- ・こどもの育ちを重視、集団教育の必要性(一定規模の集団)
- ・少子化と財政を踏まえた現実的な対応(統廃合・民間譲渡)

1. これまでの振り返り



第2回検討委員会(令和8年2月26日)

(1)こどもの育ちにとって望ましい集団規模

- ・幼児教育には「一定の集団・規模」が必要
- ・小学校接続を見据えた配慮が必要
- ・規模だけでなく、多様なこどもへの配慮も必要

1. これまでの振り返り



第2回検討委員会(令和8年2月26日)

(2)公共施設再配置計画に基づく再配置について

- ・園舎を残し、地域の乳幼児教育の場へ
- ・こども数の減少を踏まえ、統合・廃止も選択肢
- ・市全体での再編と、多様なこどもへの配慮が必要



1. これまでの振り返り

3つの方向性とこれまでの意見

(1)民間譲渡

民間活力に期待する一方、
譲渡後の運営継続の不安、実現性には慎重。

(2)統合

一定の集団規模が確保できる一方、
統合園の選択、通園距離を懸念。

(3)廃園

こども数の減少で園としての継続は難しく、
地域拠点や多機能施設へ転用する方が建設的。

1. これまでの振り返り



(1)こどもの健やかな育ちと小学校への円滑な接続の両面から、「一定規模の集団、人数」が必要である。

(2)一方で、マイノリティ、特別な支援を必要とするこどもが増えているので、この配慮をするべき。

(3)こどもの地域拠点としての新たな役割を検討するべき。

2. 検討委員会の方向性の確認



これまでの意見を踏まえ、みなさんに確認すること

(1)こどもの数が減少し続け、定員に空きのある園が増えている状況を鑑みると、新たな園を整備する必要はない。

(2)児童発達支援事業所の増加、市が3歳～5歳の一次療育を開始。園への補助金交付による障がい児の園での受入れ、最終的にはすこやかこども園が受け皿となる。

(3)閉園した場合の利活用について

3. 利活用に向けて



公共施設再配置計画に基づき
利活用の検討には優先順位があります

(1) まずは 市 による利活用を検討

市民ニーズや少子高齢化、防災・子育て等の課題を踏まえ、課題解決につながる形で有効活用できないか、市の総合計画や個別計画に沿って庁内横断的に調査します。

(2) 次に 地域 による利活用を検討

地域住民や市民団体が主体となり、運営及び維持管理も担いながら、地域の意向に沿って有効活用できないか、地区と協議します。

(3) 次に 民間事業者等 による利活用

民間に公募し、地域住民の課題解決や満足度、利便性の向上につながる提案があれば、民間の知見を活かした活用を進めます。公益とのバランスに配慮し、貸付、売却、譲渡なども検討します。

3. 報告書のイメージについて



報告書のイメージをお示しします

掛川市立三笠幼稚園の
あり方検討委員会報告書（案）

令和●年●月

掛川市立三笠幼稚園のあり方検討委員会

目 次

・ ● ● ● ・ ・ ・ ・ ・ 1

・ ● ● ● ・ ・ ・ ・ ・ 2

～

1 検討委員会の目的

2 検討委員会の構成

3 三笠幼稚園の沿革

4 検討の背景

5 検討委員会での意見等

検討委員会において出された主な意見等を以下にまとめる。

第1回検討委員会

(1) 三笠幼稚園のあり方検討について

- ・ 園の存続と地域活性化への期待（残したい・跡地活用）
- ・ こどもの育ちを重視、集団教育の必要性（一定規模の集団、人数）
- ・ 少子化と財政を踏まえた現実的な対応（統廃合・民間譲渡）

第2回検討委員会

(1) こどもの育ちにとって望ましい集団規模

- ・ 幼児教育1には「一定の集団・規模」が必要
- ・ 小学校接続を見据えた配慮が必要
- ・ 規模だけでなく、多様なこどもへの配慮も必要
- ・ マイノリティ、特別な支援を必要とするこどもが増えているので、残る公立園もこの配慮を担うべき。

(2) 公共施設再配置計画に基づく再配置について

- ・ 園舎を残し、地域の乳幼児教育の場へ
- ・ こども数の減少を踏まえ、統合・廃止も選択肢
- ・ 市全体での再編と、多様なこどもへの配慮が必要

第3回検討委員会

(1) 活用の可能性

・●●●～

6 要望及び意見

・●●●について～

7 掛川市立三笠幼稚園のあり方検討委員会 名簿

【参考資料】

1 掛川市の乳幼児教育・保育の経過

2 検討委員会について

(1) 第1回

日時：令和7年12月17日（水）19：00 場所：三笠幼稚園

(2) 第2回

日時：令和8年2月26日（木）19：00 場所：三笠幼稚園

(3) 第3回

日時：令和8年6月30日（火）19：00 場所：三笠幼稚園

(4) 第4回

日時：令和●年●月●日（●）19：00 場所：三笠幼稚園

3 掛川市の教育・保育の現状

・●●●～